

# 令和元年度 小平市立花小金井小学校 学校評価報告書

## 学校教育目標

かしこく つよく やさしい子

## 目指す学校像(ビジョン)

- 【目指す学校像】 ①児童も教職員も、楽しくて明日を心待ちにする学校 ②保護者・地域から信頼され、愛される学校  
 【目指す児童・生徒像】 ①かしこい子…主体的に問題解決に取り組み、自分の考えを表現できる児童 ②つよい子…健康でたくましい心身を持ち、目標に向かって粘り強く努力する児童 ③やさしい子…自他を尊重し、人が喜ぶ姿を見て喜べる児童  
 【目指す教師像】 ①児童を愛し、児童の良さや個性を伸ばす教師 ②授業力を高め、学ぶ楽しさを味わわせる教師 ③法を遵守し、服務規律を守り信頼される教師 ④人権意識の高い教師 ⑤経営参画意識の高い教師 ⑥親睦を深め、協力し合う教師

## 前年度までの学校経営上の成果と課題

- ・新校舎完成に伴う避難経路や学校のルールの見直し等、児童の安全と落ち着いて学ぶ環境の整備ができた。
- ・児童数の増加により、行事の取り組み方や生活指導等の教育活動全般における改善が必要であった。

	具体的方策	第1回評価		課題と対策	第2回評価		学校関係者評価	課題と次年度以降の対策
		努力目標	成果目標		努力目標	成果目標		
学力向上	○学習規律を徹底する。 ○UDの視点をもった授業を行う。 ○効果的に体験を取り入れる。	4	4	評価の規準を明確にし、共通理解を図る。児童の個人差に対応しながら、児童が退屈しない手立てをとる必要があるため、ワークシートのUD化など、できることから取り組む。3年生以上は体験を取り入れる活動ができた。低学年も今後取り組む。	4	4	・アンケート結果から児童も学校生活を楽しんでいる。児童は楽しそうに登校している。保護者からの感謝の言葉も多くある。十分に工夫や努力が見られる。	授業規律が浸透し、一定の落ち着いた学習環境が維持できている。共通理解のもと、学校全体で指導することを徹底できるよう、必要に応じて「わたしたちのきまり」を見直す。UDの視点を持った授業づくりに効果が見られた。指導を継続する。全学年が体験を取り入れた授業を実施した。指導を継続する。
	○月に1時間は図書館を活用する。 ○花小必読図書10冊を奨励する。	4	2	学年が上がるにつれ、図書館の利用頻度が落ちる傾向が見られる。計画的に活用できるようにする。必読図書の活動が定着しない。個人差に対応した取組になるよう、工夫する。	4	2	・必読図書の活用頻度を増やす努力をされているが、図書館利用が義務化してつまらなく感じる児童が出ないように配慮し、本の魅力を伝えてほしい。	図書室を読書や調べ学習で活用するなど、学年や学級の実態に応じた取組ができた。必読図書は各学年の児童の実態に応じて、冊数を増やしたり本の種類を工夫したりする。
健全育成	○全教員で児童の情報を共有する。 ○毎月チェックリストで児童の様子を把握、いじめ防止に関わる授業や学級指導を、年間3回以上実施する。	3	3	いじめの未然防止のための授業や指導を継続している。早期発見・早期対応のための情報の共有も密にできるようになってきた。今の体制を継続していく。	4	3	・学校での様子等を保護者に伝えるなど、努力されている。情報の共有もしっかりとされており、常に気を配っているように見える。学校のみならず、保護者も理解していく力が必要。	年間を通して、いじめの未然防止や早期発見に取り組むことができた。校内で生活指導に関する情報を共有することもでき、組織として対応をすることができた。今後も情報を共有することを大切にし、いじめの未然防止や早期発見に取り組む。
	○縦割り班活動や異学年学習を実施する。	4	4	なかよし班活動について、全員が見通しをもって活動できるよう、学期ごとの遊びの予定表等が必要である。体力テストで上学年が下学年を世話するなど、異学年で関わり合う体験を多く設定できた。	4	3	・異年齢の児童が当たり前前に繋がっているように感じる。低学年での交流がよく実施されているとのことだが、他学年の交流も十分に実施されていることを願う。	各学年で交流機会をもつことができた。次年度も交流機会を確保できるように計画し、内容も児童同士がさらに関わりあえる活動となるようにする。
体力向上	○ねらいが明確で、テンポがよく運動量が十分に確保された体育の授業を実践する。 ○夏期水泳指導で補習を実施する。	3	4	水泳指導が学年ごとの指導になったため、児童の実態や発達段階に応じた指導ができた。引き続き、この形で取り組む。	4	4	・校庭体育の授業時間の確保が問題とされているので、柔軟に対応されることを望む。オリ・パラの授業も含め、広く関心をもてる取組をされている。	OJTや研修において体育の指導ポイントや指導事項の系統性を共有できた。校庭体育の割り当てに偏りが見られるなど、運用面での改善が必要である。どの学年も体育の授業の機会が保障されるようにする。
	○「体力貯筋」に全校で取り組む。	4	4	学校全体として取り組むことができた。体力向上の取組について、保護者や地域に広く伝える必要がある。体力テストの結果の傾向と改善案、加えて体力貯金やパワーアップ朝会の取組をHP等で知らせるようにする。	4	4	・体力向上の取組については、継続をお願いしたい。効果的な取組と思うし、学校の努力も十分に感じる。	「体力貯金」に外遊びを入れたり、持久走タイムや縄跳びタイムなどを計画的・定期的に組み込んだりしたことが、児童が運動しようとする意欲になり、外遊びがたくさん行われた。今後も継続して取り組み、児童の体力向上と健康維持につなげる。
特色ある教育	○全教員が研究授業を行う。	1	3	研究する単位が学年になり、共通の理解を図ることがしやすくなった。他の学年の教員が参観する際、時間的に参観が難しい面も見られた。全教員が参観しやすいよう、研究授業の時間帯を午後にする。	4	4	・全員が研究授業をしていて、良い。十分に努力されていると思う。 ・地域人材の活用を、より積極的に行ってほしい。保護者の協力も得ながら、さらなる活用を目指してほしい。	全教員が研究授業を行うことができた。校内研究を全員のものにするために今後も継続する。互いの授業を参観することが時間的に難しいこともあったので、全員が研究により深く関わられるようにするため、運営を改善する。
	○地域の人材の活用を積極的に行う。	2	3	学校支援コーディネーター世話人の方々や協力し、授業のサポート等を積極的に行った。長期休業中の飼育ボランティアなど、新しい試みも見られた。年間のサポート予定を一覧にするなど、年間を見通した計画が必要である。	4	4		どの学年も積極的な活用ができた。学校行事が多く行われるなど、時期による実施の偏りもあったので、年間の計画をもとに見直しをもって地域の人材を活用できる取り組みにする。その際、内容や回数を精選し、無理なく運営ができるようにする。
その他	○午後8時までに退勤、14日以上年休を取得する。 ○C4thを活用する。 ○SSSを活用する。	1		午後8時までに退勤するために、会議の時期やもち方の工夫をする。また、会議の終わりの時間を決めるようにする。C4thの活用が習慣化するまで、C4thの確認を徹底する。SSSもさらに活用を図る。	3		・先生方が努力されていることは大きいと評価できる。教育以外の雑務が多いので、システムの変更や事務手伝いの人員増加等、市に要望してほしい。	達成は難しかった。大きな行事や成績処理の時期が忙しくなるので、行事の取り組み方や成績処理のシステムの見直し、時程の工夫や会議等の精選など、改善を続ける。職員の中でC4thの活用やSSSの活用が定着しており、効率化が図れた。
	○ホームページの充実を図るためにWebページの更新回数を各学年、専科でそれぞれ年間11回以上行う。	1	4	担当が全体の進行具合を把握するため、更新したら裏返す札を作成するなど、工夫して取り組むことができた。更新が滞ることもあったので、担当による各学年への確認を継続する。	4	4	・HPの充実も努力されている。HPの内容をもう少し詳しくすると、閲覧数も増すと思う。	定期的なHPの更新ができた。HPの更新作業が習慣化され、更新頻度も上がり、閲覧数が増えた。引き続き、頻繁な情報発信に取り組む。